

令和4年度 葛飾区行政評価委員会評価表

事業名	認知症事業の充実	担当部	福祉部
		担当課	高齢者支援課

基本情報

政策番号	6	政策	高齢者支援	施策番号	3	施策	高齢者要介護・自立支援
事業の目的		認知症高齢者ご本人やご家族が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、地域全体で認知症の方を支える体制を構築していく。					

実施内容	<p>1 認知症の普及啓発 幅広い世代に対し、認知症に対する正しい理解を広めることにより、本人の気持ちに寄り添う心を育み、認知症高齢者ご本人やご家族を地域全体で支える気運を醸成する。</p> <p>2 認知症の早期発見・早期支援 医療機関との連携を図り、認知症を早期に発見し、適切な医療・支援・サービスにつなぐことにより、認知症の症状や生活の質の改善につなげる。</p> <p>3 認知症高齢者徘徊対策 認知症のため徘徊する方を早期に発見・保護することにより、高齢者の身体・生命の安全を守り、万一の事故等に備え、家族の安心につなげる。</p>
------	---

実績情報

成果指標								
目標・実績	指標	指標の根拠	単位	区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	認知症サポーター養成人数	—	人	目標	2,800	2,800	2,800	
健診の結果、認知症の疑いが発見された人数	—	人	目標	—	—	—	—	
			実績	197	200	136	178	
おでかけあんしん事業コールセンター受付件数	—	件	目標	—	—	—	—	
			実績	28	39	30	32	
目標との乖離の考察	<p>1 認知症サポーター養成講座（認知症の普及啓発） 認知症サポーター養成人数は、コロナ禍以降、感染防止対策を行いながら会場での開催やリモート開催を行ってきたが、中止や定員制限等があり、コロナ禍以前と比べて減少した。</p> <p>2 もの忘れ予防健診（認知症の早期発見・早期支援） 健診の結果、認知症の疑いが発見された人数は、健診期間中に新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言等が発令されたことにより、一次健診受診者が減少したため、健診の結果、認知症の疑いが発見された人数も減少した。</p> <p>3 おでかけあんしん事業（認知症高齢者徘徊対策） おでかけあんしん事業コールセンター受付件数は、令和2年度と比べて減少したが、令和3年度は、30件の高齢者の徘徊に関する通報があり、早期通報・早期保護につながっている。</p>							



活動指標								
目標・実績	指標	指標の根拠	単位	区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	認知症サポーター養成講座開催回数	—	回	目標	—	—	—	
もの忘れ予防健診受診者数	一次健診受診者数	人	目標	—	—	4,268	—	
			実績	3,182	4,136	3,102	4,312	
おでかけあんしん事業登録件数（累計）	—	件	目標	540	600	1,041	—	
			実績	598	753	814	1,220	
			目標					
			実績					

所管課による自己評価

必要性	○	葛飾区における将来的な認知症高齢者数は増加が見込まれており、認知症事業の区民ニーズはますます高まるものとする。 葛飾区における認知症高齢者数（将来推計） 令和2年 17,899人 ⇒ 令和12年 21,252人 10年間で3,353人増加の見込み
効率性	△	もの忘れ予防健診は、認知症の疑いを発見する他に、受診者に対して、認知症予防関連講座への参加を促したり、日常生活に困っていることがある方を高齢者総合相談センターの支援に結び付けている。 おでかけあんしん事業は、本事業の対象である認知症により徘徊の恐れがある高齢者のデータ管理を、現在のエクセル表による管理から、福祉分野の基幹システムである福祉総合システムによる管理に変更することで、事務処理上の非効率を解消し、また、今まで以上に迅速かつ総合的な相談対応ができるよう検討を進める。
有効性	○	もの忘れ予防健診は、直近3か年の受診者の内、4～6%程度の方に認知症の疑いが発見され、治療等につながっている。 おでかけあんしん事業は、徘徊中に警察等に保護された高齢者が、おでかけあんしんシールをきっかけに24時間対応のコールセンターを経由して警察等に緊急連絡先が伝わり、無事に帰宅につながっている。また、おでかけあんしん保険は、平成31年度の事業開始以降、認知症に起因する偶発的な事故により損害賠償責任を負ったケース3件に適用されている。

各指標の達成状況に対する所管課の見解	認知症サポーター養成人数は、平成18年度の講座開始以来、累計23,318人となり、幅広い世代に対する普及啓発につながっている。 もの忘れ予防健診は、令和3年度受診者3,102人の内、136人の方に認知症の疑いが発見され治療等につながっている。 おでかけあんしん事業の登録件数は年々増加しており、内9割を75歳以上の後期高齢者が占めている。令和3年度から令和7年度にかけて、人口比率の大きい団塊の世代が順次75歳に達し、後期高齢者人口の増加が見込まれることから、登録件数はさらに増加すると思われる。令和3年度は、徘徊して警察等に保護された高齢者28人が無事に帰宅につながっている。
今後に向けた所管課の見解	もの忘れ予防健診は、認知症の疑いを発見するとともに認知症予防に関心を持ってもらうことを目的とし、受診者全員に葛飾区医師会と協働で作成したもの忘れ予防情報誌や認知症予防関連講座情報誌を配付している。今後も葛飾区医師会と協働し、関心を持ってもらうための工夫を図っていく。 おでかけあんしん事業のデータ管理を、福祉分野の基幹システムである福祉総合システムによる管理に変更することで、事務処理上の非効率を解消し、また、今まで以上に迅速かつ総合的な相談対応ができるよう検討を進める。

予算及び決算状況 ※単位は円単位

内訳		令和元年度	令和2年度	令和3年度	経費の主な内訳	
予算	①当初予算	18,139,000	26,349,000	24,251,000		
	②補正予算	0	0	0		
	③繰越予算	0	0	0		
	④流用等	2,010,000	▲56,000	▲69,000		
小計 ①+②+③+④		20,149,000	26,293,000	24,182,000		
予算財源	一般財源	6,148,000	6,886,000	3,126,000	地域支援事業交付金 認知症検診推進事業補助金等 保険料	
	国庫支出金 都支出金 その他	1,305,000 11,916,000 780,000	1,479,000 17,045,000 883,000	733,000 19,886,000 437,000		
決算	⑤執行額	17,003,093	15,876,220	15,467,136		
	（内訳）	報償費	40,000	40,000	74,000	認知症初期集中支援チーム検討委員会委員報酬
		消耗品費	519,723	156,952	257,788	認知症サポーター養成講座教材等
		印刷製本費	1,118,760	1,062,380	1,320,600	認知症普及啓発カード印刷等
		通信運搬費	4,068,917	4,974,890	4,965,177	もの忘れ予防健診受診券送付等
		保険料	1,254,400	1,501,760	1,500,622	おでかけあんしん保険保険料
		委託料	9,730,283	8,120,438	7,320,189	もの忘れ予防健診委託料
		使用料及び賃借料 扶助費	226,000 45,010	0 19,800	0 28,760	もの忘れ予防フェスタ会場使用料 徘徊高齢者位置探索サービス助成
	⑥間接額	0	0	0		
	⑦人件費	業務量（人）	3.90	4.40	2.70	
総コスト⑧=⑤+⑥+⑦		30,810,000	33,450,000	20,520,000		
		47,813,093	49,326,220	35,987,136		

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度
単位の定義	認知症サポーター養成人数、もの忘れ予防健診受診者数、おでかけあんしん事業登録件数（累計）の合計		
実績数値(⑨)	6,573	5,826	5,116
単位あたりコスト(⑧/⑨)	7,274.17円	8,466.57円	7,034.23円

決算増減の主な理由	区役所で販売している認知症普及啓発カードを増刷したため、印刷製本費は増加した。また、もの忘れ予防健診受診者数の減少により、委託料は減少した。決算総額としては微減（▲409,084円）となった。
-----------	--

令和4年度葛飾区行政評価委員会

# 「認知症事業の充実」

葛飾区 福祉部 高齢者支援課

## 葛飾区の高齢者人口及び認知症高齢者数

### 1 高齢者人口（令和4年7月1日現在）

	高齢者数	区の人口	高齢化率
65歳以上	113,813人	463,600人	24.5%
75歳以上	61,741人		13.3%

### 2 認知症高齢者数（将来推計）

○東京都福祉保健局高齢者対策部「要介護認定者数認知症高齢者数等の分布調査」（平成25年11月）の年齢別認知症有病率を用いた推計値

令和 2年	17,899人
令和 7年	20,177人
令和12年	21,252人

○65歳以上の高齢者のうち、約15%が認知症をり患していると言われている。

# 葛飾区の認知症事業

## 普及啓発

幅広い世代に対し認知症に対する正しい理解を広めることにより、本人の気持ちに寄り添う心を育み、地域全体で支える気運を醸成する。

- 認知症の人の気持ちを知るカード
- 普及啓発ポスター
- 認知症サポーター養成講座
- 認知症ケアパス
- 認知症高齢者家族会  
オレンジカフェ

## 早期発見・早期支援

医療機関との連携を図り、認知症を早期に発見し、適切な医療・支援・サービスにつなぐことにより、認知症の症状や生活の質の改善につなげる。

- もの忘れ予防健診
- もの忘れ相談会
- 認知症アウトリーチ事業
- 認知症初期集中支援チーム
- 認知症アプリ

## 徘徊対策

認知症のため徘徊する方を早期に発見・保護することにより、高齢者の身体・生命の安全を守り、万一の事故等に備え家族の安心につなげる。

- おでかけあんしん事業
  - ・ おでかけあんしんシール
  - ・ おでかけあんしん保険
- 徘徊高齢者位置探索システム助成

認知症高齢者ご本人やご家族が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、地域全体で認知症の方を支える体制を構築していく

## 普及啓発

### ■ 認知症の人の気持ちを知るカード



### ■ 認知症サポーター養成講座

認知症に対する正しい理解と知識を持ち、地域で認知症の人やその家族に対して手助けする「認知症サポーター」を育成し、認知症高齢者等にやさしい地域づくりに取り組む。

講座では、認知症の基礎知識、接し方、サポーターの役割を学ぶことができる。

### ■ 普及啓発ポスター



### ■ 認知症ケアパス「ヒトゴトじゃないよ認知症」

認知症に関する情報、認知症チェックや相談窓口、認知症の進み具合や状況に応じて受けることのできる医療、介護、福祉サービス等を掲載したパンフレット

おひとりで悩まずに。  
認知症家族会にお越し下さい！

詳しくは、  
各センターに  
お問い合わせください。

R3.4現在



### すこやか会

認知症の方を介護する家族は、体にも心にも、大きな負担がかかります。もしかすると同じ悩みを抱えている方が他にもいるかもしれません。一人で悩まずに、「すこやか会」で想いを話してみませんか。参加無料、事前連絡不要、途中参加 OK、どなたでもお気軽にお越しください。

開催日時：奇数月 第3土曜日 午後1時半～3時  
場 所：青戸地区センター（青戸5-20-6）等  
連絡先：高齢者総合相談センター青戸  
03-5629-5719



### 水元菖蒲の会

認知症対応型通所介護施設の職員と協同で行っています。参加者同士、介護の悩みや苦労、喜びをお互いに話す座談会を中心に行っています。また介護に関する情報提供や勉強会も行っています。介護されている方、介護に携わる方、地域の方、どなたでも、参加をお待ちしています。

開催日時：奇数月 最終水曜日 午後1時半～3時  
場 所：西水元在宅サービスセンター  
（西水元2-2-8 西水元あやめ園内）  
連絡先：高齢者総合相談センター水元  
03-3826-2419



### 認知症ファミリーサロン 菜の花会

認知症高齢者を介護している家族が困っていることや、家族の思いを自由に話していただいたり、認知症に関する世間話や知識について、肩ひじ張らずに皆で話しています。

開催日時：奇数月 第3木曜日 午後1時半～3時  
場 所：葛飾ロイヤルケアセンター（堀切2-66-17）  
連絡先：高齢者総合相談センター堀切  
03-3697-7815



### 花の木ケアなかま

日頃の介護状況や自分の思いを互いに話し、意見交換を行う他、認知症についての知識や理解を深めています。「笑顔になって帰れる会」を目指しています。

開催日時：奇数月 第3水曜日 午後1時半～3時半  
場 所：特別養護老人ホーム 東かなまち桜園  
（東金町2-13-10）1階地域交流室  
連絡先：高齢者総合相談センター新宿  
03-3826-8726



### さくらの会

ご家族同士が認知症や介護に関する情報交換をしたり、日頃の介護の悩みや思いを話したりすることで、これからの認知症介護に前向きに取り組めるような会にしています。職員も毎回参加していますので、お気軽にご参加下さい。

開催日時：偶数月 第2金曜日 午後1時半～3時  
場 所：高齢者総合相談センター東四つ木（東四つ木2-27-1）  
連絡先：高齢者総合相談センター東四つ木  
03-5698-2204  
高齢者総合相談センター立石  
03-6657-6140



### 奥戸ねぎぼうずの会

認知症やその他の病気の方を介護している家族のための会です。1か月に1回「つどい」で悩みを話し合ったり、専門家や経験者のお話を聞いたり、人との交流を通して少しでも楽な気持ちになれるように、一緒に考えて行きます。見学できますので、ぜひ一度お問合せ下さい。

開催日時：毎月 第4木曜日 午後1時半～3時半  
場 所：奥戸くつろぎの郷（奥戸3-25-1）多目的ホール  
連絡先：高齢者総合相談センター奥戸  
03-5670-5212  
高齢者総合相談センター新小岩  
03-5879-9328



### ハナミズキの会

職員も交え、少人数で集まりながら参加者同士で介護に関する情報交換と、悩みや苦労などを打ち明け話し合う場となっております。予約不要ですのでお気軽にお越し下さい。

開催日時：偶数月 第3金曜日  
午後1時半～3時  
場 所：高齢者総合相談センター高砂  
（高砂3-27-12）  
連絡先：高齢者総合相談センター高砂  
03-5889-8600



葛飾区役所 高齢者支援課 相談係  
立石5-13-1 葛飾区役所2階  
TEL03-5654-8597 FAX 03-5698-1531

コロナ禍により定期開催が困難なため、日時・場所については、各高齢者総合相談センターへお問い合わせください。

令和3年4月1日現在

### 堀切

#### オレンジカフェほいきり

毎月第3土曜日 午後2～4時  
葛飾ロイヤルケアセンター(堀切2-66-17)  
(新葛飾ロイヤルグリーンパーク 2号棟)  
高齢者総合相談センター堀切  
03-3697-7815

### 西水元

#### あやめカフェ

偶数月第3月曜日 午後2～4時  
西水元あやめ園口ビル(西水元2-2-8)  
高齢者総合相談センター水元  
03-3826-2419

### 西水元

#### 水元元気カフェ

毎月第3金曜日 午後2～3時半  
水元園(西水元4-6-1)  
高齢者総合相談センター水元  
03-3826-2419

### 水元

#### ふれんど水もと

毎月第2水曜日 午後2～4時  
水元ふれあいの家(水元1-26-20)  
高齢者総合相談センター水元  
03-3826-2419

### 東四つ木

#### オレンジカフェ人参

毎月第1・3水曜日 午後1～4時  
高齢者総合相談センター東四つ木  
(東四つ木2-27-1)  
高齢者総合相談センター東四つ木  
03-5698-2204

# 葛飾区のようこそ！ オレンジカフェ

もの忘れの相談ができる  
あなたのまちのカフェです

### 新宿

#### カフェほほえみ

毎月第1火曜日 午後2～3時半  
新宿地区センター  
(新宿4-1-10)  
高齢者総合相談センター新宿  
03-3826-8726

### 東金町

#### 東金町よりみちカフェ

毎月2金曜日 午後1時半～3時  
東金町地区センター1階  
(東金町5-33-6)  
高齢者総合相談センター東金町  
03-3826-5031

### 奥戸

#### オレンジカフェねぎぼうず

毎月第2水曜日 午後1時半～3時半  
奥戸くつろぎの郷(奥戸3-25-1)  
高齢者総合相談センター奥戸  
03-5670-5212

### 東新小岩

#### オレンジカフェみのり

毎月第4火曜日 午後2～4時  
みのり会館お休み処(東新小岩5-20-3)  
高齢者総合相談センター奥戸  
03-5670-5212

### 青戸

#### オレンジカフェすこやか

毎月第2・4金曜日 午前10～12時  
青戸地区センター(青戸5-20-6)等  
高齢者総合相談センター青戸  
03-5629-5719

### 高砂

#### カフェハナミスキ高砂

毎月第3水曜日 午後1時半～3時半  
レンタルルームアッフル(高砂5-49-8)  
高齢者総合相談センター高砂  
03-5889-8600

### 柴又

#### カフェハナミスキ柴又

毎月第4金曜日 午後1時半～3時  
北野町会会館(柴又1-29-3)  
高齢者総合相談センター柴又  
03-5876-9531

### 西新小岩

#### オレンジカフェ西新小岩

毎月第3水曜日 午後2～4時  
さんぽの家S西新小岩(西新小岩4-1-17)  
高齢者総合相談センター奥戸  
03-5670-5212

### 亀有

#### オレンジカフェかめあり

偶数月第3水曜日 共に午後1時半～3時  
奇数月第3水曜日  
亀有地区センター  
(亀有3-26-11/1号館7階)等  
高齢者総合相談センター亀有  
03-6240-7630

### 高砂

#### カフェハナミスキ

毎月第2・4火曜日 午後1時半～3時半  
郵営高砂団地24号棟 第2集会所  
(高砂4-2)  
高齢者総合相談センター高砂  
03-5889-8600

参加の際には、参加費が必要となります。  
コロナ禍により定期開催が困難なため、日時場所については、  
各高齢者総合相談センターにお問い合わせください。

葛飾区 高齢者支援課 相談係  
立石5-13-1 葛飾区役所新館2階201福祉総合窓口  
TEL 03-5654-8597 FAX 03-5698-1531

## 早期発見・早期支援

### ■もの忘れ予防健診（68歳～75歳）

区内医療機関で問診と検査を行い、早期診断・治療につなげる。相談支援が必要と診断された方は、健診情報と本人の同意のもと、高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）が介護サービスの調整を行うなど継続的に支援する。



### ■もの忘れ相談会

認知症サポート医・認知症連携医が、本人やご家族からの相談に応じる。

高齢者総合相談センターや公共施設等にて実施している。

### ■認知症アウトリーチ事業

大内病院（地域拠点型認知症疾患医療センター）と連携。高齢者支援課の保健師がご本人やご家族を訪問、早期の診断につなげ、適切な医療・介護等サービスに結び付ける。



### ■認知症初期集中支援チーム

いずみホームケアクリニック（地域連携型認知症疾患医療センター）に事業委託。

医療・介護の専門職が訪問し、必要な医療・介護の導入や家族支援などの初期の支援を包括的、集中的に行う。

在宅で生活の認知症が疑われる又は認知症の方で、医療サービス、介護サービスにつながない方が対象（原則として40歳以上）

# 徘徊対策

葛飾区 認知症のご家族の徘徊にお困りの方へ  
**おでかけあんしん事業**



おでかけあんしん事業とは

無料

### おでかけあんしんシール



ひとりで外出して自宅に帰れなくなったとき、シールを手がかりにご家族等に連絡することで早期帰宅へつなげます。

### おでかけあんしん保険 (認知症保険)

おでかけあんしん事業登録者の方が鉄道事故等が発生させ、ご家族が損害賠償責任を負うことになった場合等に補償される保険です。

## ■おでかけあんしんシール

認知症の症状により徘徊する高齢者を早期に発見・保護しご自宅に帰れるよう支援する。

(1) 認知症で徘徊のおそれのある高齢者の情報を、家族等の届出に基づきあらかじめ区に登録し、靴や衣類にも貼ることのできる「おでかけあんしんシール」を配付する。

(2) 登録した高齢者が外出して自宅へ戻れなくなった時に、保護した警察、消防、医療機関が「おでかけあんしんシール」に記載の電話番号に連絡をすると、連絡を受けたコールセンターが折り返し、当該高齢者の緊急連絡先を伝える。

(3) 情報を受けた警察等が、緊急連絡先である家族等に連絡し、当該高齢者の引き取りにつなげる。



